

(仮称) 豊平地区再編小学校新築ほか工事に係る建築設計

選定理由及び総評

本プロポーザルは、札幌市都市局建築部が発注する工事に係る設計業務を委託する者の選定にあたり、創造性、技術力、経験などを適正に審査の上、その業務の内容に最も適した設計者を選定することを目的として実施しました。技術提案書の審査については、以下を「求める提案項目」とし、的確性、独創性、実現性等を考慮して総合的に評価しています。

- (1) 快適な学習空間の創出及び効率的な施設運営を実現するための建築計画について
- (2) 将来の機能拡充・用途転用・設備更新の容易性など、長寿命化への対応について
- (3) 建築的手法による環境負荷低減の考え方について
- (4) その他独自提案について(当該業務を実施するに当たり重要と考えられる視点等)

1 選定理由

【選定者】株式会社アトリエブク

周辺環境に配慮しながら2～5層のボリュームを巧みに配置し、校舎・グラウンド・外構をバランスよく成立させるとともに、大階段と吹抜けを活かして2階との一体感を持たせたエントランス空間に加え、特別支援学級や職員室の配置への配慮や、統合校の歴史継承を考慮した提案が高く評価された。

【次点者】株式会社大建設計 札幌事務所

限られた敷地条件において建物を4階に抑え、体育館を2階に配置することで敷地を有効活用し、光庭や回遊動線を活かした多様な学習空間の創出や、既存緑道と屋外学習空間を連続させる視点が評価されたが、選定者には及ばなかった。

2 総評

選定者及び次点者が評価されたポイントを含め、全提案を通じた傾向等を示した総評は以下のとおりです。

【敷地特性を活かした配置計画と建替工事による学校運営への影響】

厳しい敷地条件の中、生徒や職員の日常的な上下の動線や移動距離に配慮した階数の設定、ゾーニング等の合理性が論点となりました。日影など周辺環境に配慮しつつ、児童等の利用実態に配慮しながら5階建てとしたり、体育館を2階に配置することで建物を4階以下に抑えてコンパクトにまとめるなど、敷地を有効活用し、整形なグラウンドを確保しながら、一期工事で新校舎を整備して学校運営への影響を最小限に抑える計画が支持されました。一方で、工事が二期にわたりグラウンドを利用できない期間が長期化する計画やグラウンドの面積が大幅に圧縮される計画など学校運営への影響が大きい計画は、その妥

当性について更なる精査が必要といった意見がありました。加えて、バスの待機・転回スペースの検討が不足しているといった意見もありました。

【複合機能の連携と多様な学習空間の創出、地域の歴史継承】

外部利用も考慮した図書館や児童会館、まちづくりセンター等と学校昇降口との関係性が優れ、機能的な連携が図られた計画が評価されました。また、大階段や吹抜けを活かして2階との一体感を持たせたエントランス空間や、光庭・回遊動線と組み合わせた開放的な多目的室など、活用の幅が広い空間の計画が評価されました。また、既存の緑道との一体的なつながりや、積極的な活用を意識した提案が少ない中で、既存の緑道と屋外学習空間を連続させる視点や、統合校のシンボル（水車の移設や郷土史料スペースなど）を活かして歴史を継承するきめ細やかな配慮も支持されました。一方で、パースや断面図等の図面表現において吹抜けや光庭の規模が実態よりも過大に描かれ、空間構成のリアリティに欠けるといった意見がありました。

【生活環境の向上と児童の安全、積雪寒冷地への的確な対応】

特別支援学級を職員室に近接させ、児童が落ち着いて過ごせる学習環境を確保した計画が評価されました。また、職員室からグラウンドや昇降口への視線が広く確保され、児童の自然な見守りが可能となる計画や、セキュリティラインが明確な計画が支持されました。積雪寒冷地における課題に対しては、的確な堆雪スペースの配置など、冬期の利便性と維持管理に配慮した計画が評価されました。一方で、体育館の下階に配置された諸室に対する騒音・振動対策や設備スペースを考慮した十分な天井ふところの確保、駐車場と通学動線が近接し安全面に懸念が残る提案については具体的な言及が不足しているといった意見もありました。

【環境負荷低減と将来の設備更新・コスト管理を見据えた計画】

建物を整形でコンパクトな形状とし、外皮面積を小さく抑えることで熱負荷を低減する堅実な手法が評価されました。また、高いメンテナンス性を実現するトイレ計画など、将来の維持更新への対応や用途転用を見据えた計画が評価されました。加えて、人手不足や建設コスト高騰を見据えた省力化工法の検討やBIMの活用など、課題解決に向けた具体的な検討の視点が支持されました。一方で、立面形状が複雑で外皮面積が大きくなることでコストや熱負荷の面で不利となる提案や、導入コストに見合う環境負荷低減効果の妥当性や本施設の規模における維持管理上の合理性が十分に見極められていない環境提案については、精査が必要であるといった意見がありました。